

## 名古屋大学医学部附属病院における

### 神経線維腫症 1 型 (NF1) 診療ネットワークのご案内

#### ➤ 神経線維腫症 1 型と診断された患者さん・ご家族へ

神経線維腫症 1 型の患者さんは、皮膚、骨、眼、神経、副腎、消化管など身体の様々な臓器に症状が出現します。症状の程度も年齢によって異なり、患者さんごとの個人差が大きいことが特徴です。そのため、症状に関連する複数の診療科が連携して治療にあたり、神経線維腫症 1 型患者さんの診断、治療、遺伝相談を体系的に行う必要があります。名古屋大学医学部附属病院では、小児科、脳外科、眼科、整形外科、皮膚科、形成外科、精神科／親と子どもの心療科の 7 科に加え、認定遺伝カウンセラーと医療ソーシャルワーカーを含めたチームで総合的に神経線維腫症 1 型の患者さんを診療しています。それぞれの科に担当医を配置して、各科をスムーズに受診できるようサポートしています。

#### ➤ NF1 ネットワーク診療の受診について

診療を希望される方は、現在担当されている先生を通じて名古屋大学医学部附属病院を受診するようにご依頼ください。患者さんが 15 歳未満であれば小児科、15 歳以上であれば症状のある科の担当医師宛てとしてください。特定の診療科が分からない場合や下記の図に示した以外の科を受診する場合は、初めに整形外科西田医師受診後に各科への紹介も可能です。

